

年の瀬が迫り、令和8年へのカウントダウンも始まろうとしています。今年も学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員を始め、地域のみなさんには「子ども達の豊かな学びと体験」、そして学校と地域の連携協働に向けて大変にご尽力いただきました。改めて御礼申し上げます。

今号では、9月以降に学校・地域で実践された先進的な事例を紹介します。ぜひ、新年、そしてCS.5年目となる令和8年度の参考としてお読みください。

【湖北・新木地区地域会議で学校と地域が膝を交えて協議 10/26(日)】 ＜3校校長、教頭、CS委員9名と地域40名でグループワーク実施＞

※スクラムNo.14でお知らせしましたが、今年度、指導課は市民協働推進課と連携して市内で実施している地域会議でコミュニティ・スクールの周知を図っています。湖北・新木地区地域会議には湖北中、湖北小、新木小から学校の代表者が参加し、学校と地域の連携協働について熟議を行いました。



(指導課プレゼン)

1時間半ほどの会議で以下の点を中心に話し合いました。時間が足りずに結論を得ることができなかった点もありましたが、今後に向けてお互いにとって貴重な時間になったと評価しています。

- ① 現状の学校の取り組みと今後に向けての依頼
- ② 学校と地域がさらに連携を深めるための手立て



(学校と地域の熟議)

【学校と地域が「育てたい子ども像」を共有した取り組み】

＜福祉教育推進会議に生徒が参加＞

※標記会議では、例年秋に開催される「福祉まつり」について協議しています。例年は教員が会議に参加し、割り当てられた部署に生徒ボランティアを募集して協力しています。湖北中の学校教育目標は「主体性と共生」ですが、生徒のさらなる主体性を伸ばすため、学校と地域が協議し、今年度は会議に生徒代表が参加することが決定しました。



緊張した面持ちの生徒は、バザー献品について自分たちで考えた提案を発言したり、疑問点を積極的に質問したりしていました。主催者側の大人からは「集まった献品の量が多い少ないではなく、君たちが呼びかけを行うことでみんなに知ってもらえることに意義がある」と温かい言葉をいただいています。

地域の力で自己肯定感を高めた生徒は、本番に向けてさらに頑張り、生徒の手によるより主体的な「福祉まつり」となることが目に見えるようです。

【TOPICS－各学校の取り組みから】

<地域貢献活動のその後>

※5月の研修会で実践発表を行った湖北台中の地域貢献学習は、1年生にも引き継がれ、再び学校が地域の方と一緒に総合学習の時間を創っています(右写真)。

2年生は校外に出てどんどん活動を広げています。小学校の池掃除や幼稚園の倉庫整理、地域のカフェには学校で作った野菜を納入、また、生徒が発案したメニューを採用していただきました。地域の清掃活動では、生徒に声をかけてくれる住民の方、ゴミ袋をもってきてくれる方、飲み物やおやつまで差し入れてくれる方もいました。中学生の行う活動が地域の方に周知され、応援されていることは、子どもにとっても学校にとっても計り知れない効果があると考えています。

<広がる放課後学習と子どもの居場所作り>

※スクラムNo.15で地域と学校が連携した夏休み学習会の紹介をしましたが、学期中の定期的な実施としては布佐地区、湖北小に続いて湖北台東小でも始まりました。授業を終えた子ども達は図書室に駆け込み、地域のみなさんとうれしそうに宿題に取り組みながら、お互いがコミュニケーションを楽しんでいました。

<地域との有意義な交流を目指して総合学習で学ぶ子ども達>

※過去にも布佐南小がシニアサークルと協働して作った七夕集会や湖北台西小がまち協と連携して行った地域への発表会を紹介しましたが、同様の取り組みが総合的な学習の時間での学びを通して広がってきました。

①湖北小ではシニアサロンのみなさんとの交流に向けて高齢者に喜んでもらうための方策を子ども達が考えて準備しました。写真は「お年寄りと一緒に”ソーラン節”を踊りたい」と練習している様子ですが、子ども達は高齢者が覚えやすいように考えた掛け声を踊りに付けたり、自分達で車座になって振り返りを行い改善点を共有するなど、思いやりの心や思考力、主体性を育む授業であったと思います。

②並木小では地域の高齢者を招いての交流会に向け、一緒に遊びながら喜んでもらうためのおもちゃ作りに取り組みました。おもちゃを自分たちで考えたということもあってか「〇〇を工夫しよう」「〇〇するともっと楽しいよ」など、子ども同士の熟議が成立し、それを受けて一生懸命に活動している様子に感心しました。こちらの授業でも思いやりの心、思考力、主体性が育まれています。

【我孫子読み聞かせボランティア@小学校】から

市内各小学校で読み聞かせボランティアをしている保護者が繋がっているグループです。講習会や読み聞かせをしたい方の相談に乗っています。関心のある方のご連絡をお待ちしています。 ☒ abiyomivol.shougakkou@gmail.com



中学生の行う活動が地域の方に周知され、応援されていることは、子どもにとっても学校にとっても計り知れない効果があると考えています。

